

# 平和と反戦を詠う

こまえ平和フェスタ2022

瓦礫の中素足で歩く子の泪

長嶋 幸子

少年兵螢となりて母のもと

金子 幸子

もう終れ焚書 ウクライナの嘆き

長澤 静子

ミサイルの飛ばない空は青い空

山本伸八郎

遺体踏みつつ逃げた空襲 忘れぬ足

須田 妙子

利ひとつ無き争い 天河動ぜず

船木 孝雄

砲弾に頭だせない かたつむり

田中 信行

伝えたき「反戦」の意思 惜しまずに

山田 秀夫

生まれ育った街 跡形もなく今は

三ヶ原まり子

支給受給戦の末の弔慰金

石井 淑子

今まさに平和の願い切実に

今野 良雄

防空壕で縮こまってたあの日

富田美津子

戦時下に生まれきた子の意義は何

真田 克子

窓あけて昼寝ができるこの暮らし

長嶋 幸子

八月は肅々と過ぎ蝉時雨

金子 幸子

あの頃はロシア民謡詠ってた

長澤 静子

盆提燈平和ごっこが好きだった

山本伸八郎

入港船の船底暮らし 訓練兵

須田 妙子

かの国は見しや 平和の花火なびく

船木 孝雄

墓すら無きひまわり畑 くりかえす

田中 信行

平和の一步踏み入れ安心を

山田 秀夫

破壊され尽くした街を歩く鳩

三ヶ原まり子

ああ亡兄さん地球の今が見えますか

石井 淑子

世界史で教えて欲しい反戦を

今野 良雄

散る覚悟なくて若獅子往きしまま

富田美津子

鎮魂歌八月巡る黒い雲

真田 克子

「一般応募」

言ってみる世界の平和こまえから

谷上 時子

年老いて粕江の平和ひとりじめ

谷上 時子

平和です輪投げカラオケ長寿会

谷上 時子

俳句

「一般応募」

鷹鳩と化して戦は止めるべし

説子

凍て返る死にたくない幼の目

説子

落椿マトリョーシカの傍らに

説子

春郊に戦車歴史は繰り返す

たかし

駅前うららボルシチ振る舞ふ避難民

たかし

この国の平和危ふし夕立雲

たかし

原爆忌核廃絶の世を願う

みどり

特攻花咲き乱れるや終戦日

みどり

忘れまい日本の悲劇終戦日

まち子

巡る夏語りつなごういつまでも

まち子

今年又還らぬ御魂終戦日

まち子

短歌

「一般応募」

焼け落ちし被爆マリアの黒き眼に

映る未来の平和であらまし

ウクライナのひまわり畑に夫<sup>つま</sup>捜す

ソフィアの哀しみ今再びの

アンネの日記再び視つつ想いはず

閉じ込められしウクライナの人を

小俣真智子

「特別寄稿 秋葉忠利元広島市長狛江講演を歓迎して」

英語にて平和宣言締めくくる

広島市長の八月熱し

(朝日歌壇2010入選作)

小俣真智子

今年も「川柳狛の会」さんから、平和を願って作品を応募して頂きました。「狛江俳句会」さんには手違いで間に合わず、申し訳ありませんでした。一般応募として多数の作品をありがとうございました。

ご来場のみなさん、この冊子をお読みになったご感想をお寄せください。

こまえ平和フェスタ2022実行委員会

URL : <http://komae-heiwa-fes.clean.to/>

